

令和七年度 小学校卒業式 祝辞（案）

1 豊島区立〇〇小学校の卒業式にあたり、豊島区並びに豊島区教育
2 委員会を代表し、卒業生、保護者の皆様に、心からお祝いを申し上
3 げます。

4 卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

5 皆さんはこの六年間、毎日の授業を始め、友達との関わりや様々
6 な活動を通して、たくさんのことを学んできました。壇上から立派
7 に成長された皆さんの姿を見ますと、とてもうれしく、誇らしい気
8 持ちでいっぱいです。

9 これから皆さんは、多くの人と出会い、さまざまな考え方や生き
10 方にふれることとなります。人は得意なことも、苦手なことも、感
11 じ方も、育ってきた環境も、それぞれ違います。これからの社会で
12 は、互いの違いを認め合い、尊重し、思いやりの心をもって支え合
13 うことがとても大切です。

14 令和7年11月、日本で初めて東京2025（にーぜろにーご）デフ
15 リンピックが開催されました。デフリンピックは、耳の聞こえない・
16 聞こえにくい選手たちが、自分の力を発揮して競い合うスポーツの
17 国際大会です。音が聞こえないという「違い」があっても、選手た
18 ちは工夫を重ね、仲間と支え合いながら、自分の夢の実現を目指し
19 てチャレンジし続けています。

豊島区から出場した選手が2人います。水泳の久保 南（くぼみなみ）選手とレスリングの三浦 桂吾（みうらけいご）選手です。本日は卒業される皆さんに、はなむけの言葉として三浦 桂吾（みうらけいご）選手のお話を紹介します。

20 三浦選手は、小さいころから格闘技を観るのが好きで、大人にな
21 ってから、東京でデフリンピックが開催されることを知り、レスリ
22 ングの道を歩み始めました。厳しい練習を積み重ね、見事、日本代
23 表としてデフリンピックに出場することができました。

24 試合後のインタビューで、三浦選手は「みなさんにありがとうの
25 気持ちでいっぱいです。だれもが自分の夢を追いかけてほしい。」と
26 語りました。この言葉には、「違いがあっても、夢に向かって挑戦す
27 ることが大切」という強いメッセージが込められています。デフリ
28 ンピックの選手たちの姿は、「できないからあきらめる」のではなく、
29 「どうしたらできるかを考える」ことの大切さや、人はそれぞれ違
30 っている、支え合えば、大きな力を発揮することができるという
31 ことを教えてくれます。

32 皆さんは4月から、人生の中で心も体も、最も大きく成長する中
33 学校の3年間を迎えます。皆さんは大きな可能性を秘めています。
34 三浦選手のように失敗を恐れず、自分の好きなこと、やりたいこと
35 に積極的にチャレンジしてください。また時には思うようにいかな

36 い場面もあるかもしれません。そんなときは、一人で抱え込まず、
37 周りの人に相談をしてみてください。皆さんのそばには友達や家族
38 がいます。そして先生や地域の人たちがいます。たくさんの人が、
39 皆さんのことを応援してくれるはずです。どうか、自分を大切にし、
40 周りの人にもやさしい心に向けながら、自分らしい未来を、じっく
41 りと、しっかりと歩んでほしい。私たち豊島区は、いつまでも皆さ
42 んを応援し続けることをお約束します。

結びにあたり、卒業生一人一人の健やかな成長を願い、熱心にご
指導にあたられました〇〇〇〇校長先生をはじめ教職員の皆様、そ
して本校の教育活動に惜しみないご理解とご協力を賜りました保護
者、地域、ご来賓の皆様に心より感謝申し上げます。これからの豊
島区を担う子どもたちに、今後も変わらぬご厚情を賜りますよう、
よろしく願いいたします。卒業生の益々のご活躍と幸多きことを
心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和八年三月二十五日

豊島区長 高際 みゆき

豊島区 教育委員会

令和七年度 中学校卒業式 祝辞（案）

豊島区立〇〇中学校の卒業式にあたり、豊島区並びに豊島区教育委員会を代表し、卒業生、保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは〇〇中学校での3年間の学びを通して、自分の可能性を伸ばし、未来を切り拓いていくための力を着実に身に付けてきたことと思います。壇上から式に臨む皆さんの姿を見ますと、立派に成長されたことが分かり、とても嬉しく思います。

さて、昨年12月、日本人で2人のノーベル賞受賞者が誕生しました。がんの治療やアレルギーの予防などに応用できる免疫システムの研究で坂口志文（さかぐちしもん）さんがノーベル生理学・医学賞を、世界で初めてガスを出し入れできる新しい材料を開発した北川進（きたがわすすむ）さんがノーベル化学賞を受賞されました。本日は卒業される皆さんに、はなむけの言葉として北川進（きたがわすすむ）さんのエピソードを紹介します。

ノーベル化学賞を受賞した北川さんは、「多孔性（たこうせい）材料」と呼ばれる、目に見えないほど小さな空間をもつ物質の研究を続けてきました。この研究は、環境問題の解決や医療の発展など、

私たちの未来を支える重要な分野につながっています。しかし、その研究の道のりは決して順調なものではありませんでした。実験がうまくいかず、何度も失敗を重ね、すぐには役に立たないと思われる研究に取り組み続ける毎日だったそうです。それでも北川さんは、挑戦をやめず、30年以上も粘り強く研究を続けました。

北川さんの座右の銘は「無用の用」です。「一見すると役に立たないように思えるものでも、続けていくうちに大きな価値を生むことがある。」という意味の言葉です。すぐに結果が出なくても、「無駄に見えること」にも意味があると信じ、研究を続けたことが、ノーベル化学賞受賞という世界に認められる成果へとつながりました。

「無用の用」には3つの教えがあります。第一の教えは「努力の過程で得た力を大切にすること」です。私たちはつい結果だけを追いがちですが、学びの途中で培われる考える力や忍耐、失敗から学ぶ力は、長い人生で何度も役に立つ宝物です。迷いや困難に直面したとき、正解を急がず、問いを深める姿勢を持ち続けることが、やがて大きな成長へとつながります。

第二の教えは「他者との関係を育むこと」です。無用の用は、仲間や先生、家族と協力し、対話を重ねる中で生まれる共感と協働の力を意味します。これからもお互いの立場を理解し合い、異なる意見を尊重しつつ共に前に進む力を磨いてください。困難を分かち合

うことで、強い絆と新しい可能性が生まれます。

第三の教えは「自分の内なる地図を更新し続けること」です。興味や関心、得意・不得意は時とともに変化します。無用の用は、今の自分を固定せず、多様な経験を通じて自分の価値観や信念を見つめ直す機会を与えてくれます。新しい挑戦に心を開き、どんな場面で自分が輝くのかを探究し続けてください。

これからの皆さんの歩みには、多くの出会いと挑戦が待っています。新しい環境での学びも、仲間とともに成長する喜びも、すべて未来の自分を支える力強い原動力になります。これからも、すぐに成果として見える活躍を求めるだけではなく、目に見えない力を育てる時間を大切にしてほしいと思います。そして、友だちを信じ、先生方の言葉に耳を傾け、家族の励ましに感謝しながら、人として正しく、誠実に生きることを願っています。私たち豊島区は、これからも皆さんを応援し続けることをお約束します。

結びにあたり、卒業生一人一人の健やかな成長を願い、熱心にご指導にあたられました〇〇〇〇校長先生をはじめ教職員の皆様、そして本校の教育活動に惜しみないご理解とご協力を賜りました保護者、地域、ご来賓の皆様に心より感謝申し上げます。これからの豊島区を担う子どもたちに、今後も変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしく願いいたします。卒業生の益々のご活躍と幸多きことを

心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和八年三月十九日

豊島区長 高際 みゆき

豊島区教育委員会

令和七年度 幼稚園修了式 祝辞文（案）

1 豊島区立〇〇〇幼稚園のみなさん、修了おめでとうございます。

2 〇〇〇幼稚園では、園庭で遊んだり、お当番を頑張ったりしまし
3 たね。また、運動会やこども会での元気いっぱいの姿は、とても素
4 敵でした。いつも皆さんのそばにいてくれたお友達や先生、お家の
5 人に「ありがとう」の気持ちを伝えましょう。

6 いよいよ、四月から小学生です。小学校では、お友達と勉強をし
7 たり、休み時間に遊んだりします。美味しい給食もあります。小学
8 校の先生方とお兄さんお姉さんたちが、みなさんを待っています。

9 さて、保護者の皆様、本日、修了式を迎えられましたこと、誠に
10 おめでとうございます。お子様の成長された姿に感慨もひとしおの
11 ことと思います。毎日の送り迎えをはじめ、幼稚園の教育活動にご
12 理解とご協力いただき、ありがとうございました。今後とも、お子
13 様が多くの学びや遊びに触れ、伸び伸びと成長されますよう、支援
14 してまいります。

15 結びに、園児の健やかな成長のために、ご指導にあたられました
16 〇〇園長先生をはじめとする教職員の皆様、本園の教育に惜しみな
17 いご支援を賜りました地域の皆様に、心より感謝申し上げまして、
18 お祝いの言葉といたします。

20 令和八年三月十三日

21 豊島区長 高際 みゆき

22 豊島区教育委員会